

The radio... **YAESU**

FTX-1 series

HF/50/144/430MHz ALL MODE TRANSCEIVER

FTX-1 Field

フィールド運用 10W バージョン

FTX-1 optima-50

フィールド/モービル運用 10W/50W バージョン

FTX-1dx

固定局運用 100W バージョン



※ 写真のスタンドは市販品です

短波帯通信に魅せられて

脈々と流れ続ける Single Side Band DNA

常に時代のマイルストーンとなる通信機を創り続けてきた八重洲無線から

FTX-1 本物の誕生です

FTX-1 series

HF/50/144/430MHz ALL MODE TRANSCEIVER

FTX-1 Field

フィールド運用 10W バージョン



10W (SBR-52LI使用時6W)

4アマ免許 技適

標準価格 ¥159,500 (税抜 ¥145,000)

構成品：・フィールドヘッド
・リチウムイオンバッテリー SBR-52LI

FTX-1 optima-50

フィールド/モバイル運用 10W/50W バージョン



10W/50W 3アマ免許 技適

標準価格 ¥231,600 (税抜 ¥216,000)

構成品：・フィールドヘッド
・リチウムイオンバッテリー SBR-52LI
・50W パワーアンプ SPA-1M

FTX-1 DX

固定局運用 100W バージョン



100W (144/430MHz帯 50W)

2アマ免許 技適

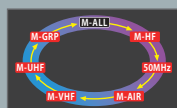
標準価格 ¥231,000 (税抜 ¥210,000)

構成品：・フィールドヘッド
・100W パワーアンプ

※ 日本の電波法上、FTX-1 DXを移動用として運用することはできませんのでご注意ください

HFからUHF帯まで C4FM デジタルを含むオールモードでフルカバー 専用機のような操作感覚、HF帯からUHF帯までをまさに縦横無尽

- 1 HF/VHF/UHF** | **MAG (Memory Auto Grouping)** でメモリーチャンネルを自動的にHF帯、VHF帯、UHF帯ごとに呼び出す
- 2 HF/VHF/UHF** | **QMB (Quick Memory Bank)** で現在の受信状態をそのまま記憶してワンタッチで呼び出す
- 3 VHF/UHF** | **PMG (Primary Memory Group)** 機能で複数のクラブチャンネルを常時モニター
- 4 VHF/UHF** | **AMS (Automatic Mode Select)** でC4FMデジタルとFMモードを自動で選択



MAG (Memory Auto Grouping)



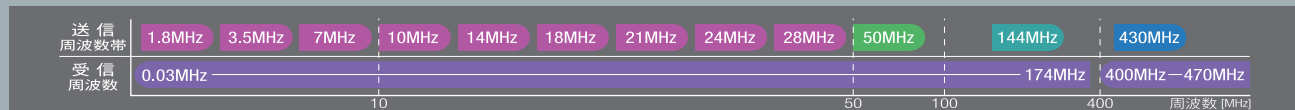
QMB (Quick Memory Bank)



PMG (Primary Memory Group)



AMS (Automatic Mode Select)



2波同時受信、C4FM/C4FM同時再生

2つの独立した受信回路構成により、同一バンドまたは異なるバンド (HF/V、HF/U、V/U、V/V、U/U) の同時受信※、C4FM/C4FMの同時再生にも対応しています。V/UHFのC4FMデジタルでローカルクラブ局と連絡をしながら、HFのSSBモードでDXを楽しむなど多彩な運用を行うことができます。

※HF/HFの同時受信には対応していません

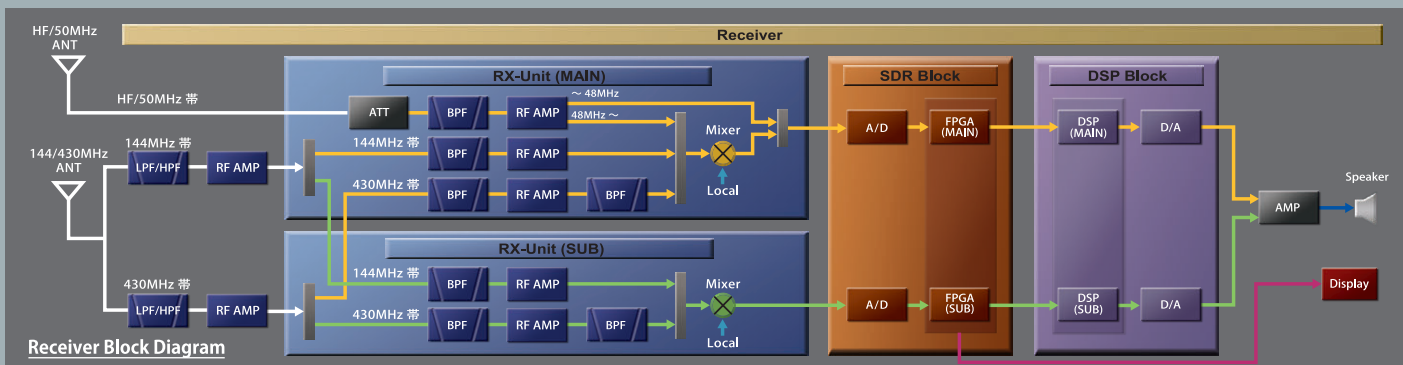


430MHz帯 C4FM デジタルモード、14MHz帯 USB モード運用イメージ

妥協のない受信回路構成が優れた基本性能を実現

混信に強い八重洲のRFフロントエンド

コンパクトながらもHF帯からUHF帯まで全10分割されたBPF (バンドパスフィルタ) を採用、NF (ノイズフィギュア) が低く混変調特性に優れたRFアンプを持つ強力なRFフロントエンドに、ローカル回路には110.592MHzの高精度発振回路を採用しC/N特性に優れた高品質のサンプリングクロック信号をA/Dコンバータに供給することで優れた近接二信号特性を実現しています。



基本性能を重視した妥協のないSDR受信回路構成

受信周波数48MHzまではダイレクトサンプリング方式、それを越える周波数ではシングルコンバージョンIFサンプリング方式となるSDR受信回路構成、FTDX10で採用された高分解能A/DコンバータとFPGA素子を搭載しています。MAINとSUBで独立した2波同時受信回路を搭載するなど、コンパクトながらもHFからUHF帯まで妥協のないSDR受信回路構成により高い基本性能を実現しています。HF/50MHz帯ではバンドやコンディションに合わせてIPO/AMP1/AMP2を切り替え、RFアンプ回路の最適な動作を選択することができます。144/430MHz帯ではそれぞれのバンドで独立したRFアンプ回路にGaAs MMIC (ガリウムヒ素モノリシックマイクロ波集積回路) NJG1152KA1を採用し、VHF/UHF帯で求められる高ゲインかつ低NF (雑音指数) を実現しています。



高速DSPによる効果的な混信除去

Dual Core 32bit 浮動小数点DSP (クロック周波数594MHz/198MHz) を採用、SHIFT / WIDTH / NOTCH / CONTOUR (コンツアー) / DNR (デジタルノイズリダクション) / NB (ノイズブランカー) / APF (オーディオピークフィルタ) など効果的な混信除去機能を高速デジタル処理によって行なっています。ディスプレイ画面にフィルターや混信除去機能の動作状態に加え、通過帯域のスペクトラムも表示しますので通過帯域の状況を簡単に確認することができます。設定はディスプレイ画面のフィルター表示部をタッチしてMAIN/SUBで独立したDSPダイヤルで調整を行いますので、コンテストなどでもスムーズなオペレーションが可能です。



優れた操作性を追求したフロントパネルデザイン

コンパクトなボディに4.3インチの大型タッチパネルディスプレイを搭載し直感的な操作を実現すると共に、実際の運用において重要な機能はMAINダイヤルを中心に配置。MAINダイヤル上部のデュアルLEDインジケータはMAIN/SUBの送信受信状態を独立して一目で把握することができます。さらにMAIN側/SUB側の各種表示部と操作部をフロントパネルの左右に独立して配置するなど、通信機としての優れた操作性を追求したパネルレイアウトになっています。

高音質・大音量2WAYフロントスピーカー

口径の異なる二つのスピーカーを搭載、フロントパネル下部の開口部から音が前面に出る構造になっており、高音質・大音量でフィールド運用でも十分な音量で受信音を再生します。



3次元スコップ表示 3DSS (3-Dimensional Spectrum Stream) 搭載 高精細 4.3 インチ TFT カラータッチパネルディスプレイ

4.3インチワイドの大型カラーディスプレイを搭載、リアルタイムスペクトラムスコップ表示は、FTDXシリーズのSDR3次元スコップ(3DSS)を採用し信号強度の時間的な変化を容易に把握、運用周波数をはじめ、メーターや機能の設定、ディスプレイの表示設定をタッチパネルで直感的に操作をすることができます。

【スコップ表示】

スイープ速度：約30 FPS、表示レンジ：100 dB、スパン幅：5 kHz - 1000 kHz

3DSS (3-Dimensional Spectrum Stream) 表示

八重洲独自の3DSS(3次元スペクトラムスコップ)は、バンドの情報を立体的に表示するとともに信号が画面後方に流れていくことにより、信号強度の時間的な変化を直感的に把握することができます。スコップ画面の信号のピーク部分にタッチするだけで瞬時に目的信号に周波数を移動することができます。信号の強度によって色が変化するマルチカラー表示を選択することもできます。

MULTIファンクション表示

MULTIファンクション表示は3DSS表示に加え、オシロスコープとAF-FFTのオーディオスコップを画面下部に同時に表示します。運用中に受信バンドをモニターしながら同時に受信音のスペクトラムを表示するAF-FFT機能で相手局の送信電波のオーディオ周波数特性を見ることが、受信部のフィルターや混信除去機能を調整する際にもその効果を視覚的に確認できます。

ウォーターフォール表示

画面の「3DSS」にタッチすれば好みに合わせて3DSS表示とウォーターフォール表示を切り替えることができます。

スペクトラムスコップと周波数の表示カラー選択

スペクトラムスコップ表示色は12色、周波数表示色は3色のカラーバリエーションから、お好みにあわせて見やすい表示色を選択できます。

タッチ操作によるスムーズで快適な運用

ディスプレイ画面上の設定したい箇所をタッチして簡単に設定を変更したりチューニングをすることができます。

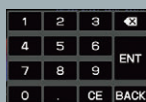
● 送信メータ表示切替

メータ表示部にタッチして送信時のメータ表示を選択できます



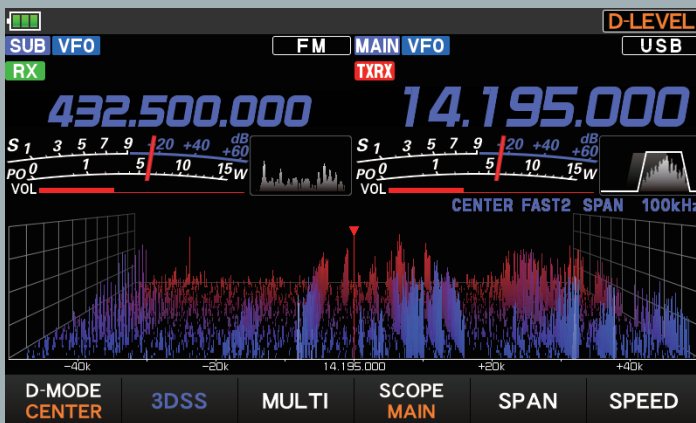
● テンキーダイレクト入力

周波数の100Hz以下の桁にタッチして表示されるテンキーで周波数を直接入力できます

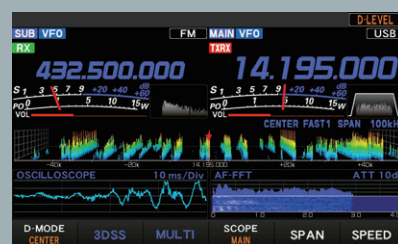


● MHz/kHz チューニング操作

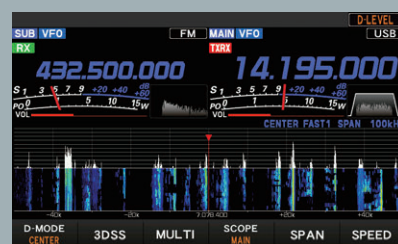
周波数のMHzまたはkHzの桁にタッチしてMAIN/SUBダイヤルで周波数が変更できます



3DSS表示



MULTIファンクション表示



ウォーターフォール表示

使い方や好みに合わせて3種類のディスプレイ表示画面を選択することができます

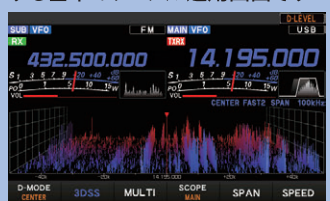
ディスプレイ(DISPLAY)キーを押すことでディスプレイ画面を選択することができます。ディスプレイ(DISPLAY)キーの長押しでディスプレイを消すことができます。キーやダイヤルを操作をすると再度表示されます。

ディスプレイ(DISPLAY)キー



デュアルバンド運用表示(左右表示)

MAIN/SUBの周波数を左右に表示する基本のデュアル運用画面です



デュアルバンド運用表示(上下表示)

MAIN/SUBの周波数を上下に表示するデュアル運用画面です



シングルバンド運用表示

MAIN/SUBどちらかの周波数だけで運用するシングル運用画面です



快適な運用をサポートする多彩な機能

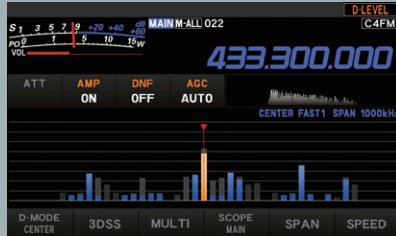
遠距離通信の可能性を広げるスーパー DX 機能

ワンタッチでRFアンプのゲインを上げて受信感度をアップさせるとともにDSPによるデジタル信号処理により音声を浮かび上がらせてS/Nを改善します。微弱な受信信号であっても聞き取りやすくクリアな受信音を再生しますので、遠距離通信の可能性を広げます。

※スーパー DX 機能はC4FM デジタル以外の全てのモードで動作します

メモリーチャンネルスコープ

最大43チャンネルのメモリーチャンネルをスコープ表示します。受信した信号の強さをバーグラフで確認して、受信したいバーグラフをタッチするだけで、送受信チャンネルが移動しますので、すぐに交信を始めることができます。



FT8の運用も簡単設定『PRESET』モード

MODE画面の「PRESET」にタッチするだけで、各設定項目が「FT8」モードに最適に設定されますので、スムーズで快適に「FT8」モードの通信を楽しむことができます。

画面の「PRESET」を長押しして各設定項目を呼び出して簡単にプリセット情報をカスタマイズすることもできます。プリセット情報は最大5個まで保存することが可能です。



FUNC (ファンクション) ダイアル

多機能でありながら設定の変更は専用のFUNC (ファンクション) ダイアルで簡単に行うことができます。ダイアルを長押ししてタッチスクリーンで項目を選択、調整するシンプルな操作で運用中でも素早い操作を可能にします。FUNC (ファンクション) ダイアルは、最後に使った機能が記憶されているので、それ以降はダイアルを回すだけで設定を変更することができます。



WIRES-X (ワイヤーズ)、APRS 通信に対応

世界中のワイヤーズ局と交信ができるインターネット通信システムWIRES-Xに対応、FTX-1だけでノード運用/ルーム運用(デジタル/アナログ対応)が可能。APRS通信も対応しています。

micro SD カードスロット

micro SD カードスロットを装備、市販のmicro SD メモリーカードを使用して交信音の録音/再生、ボイスメモリー(送信用の音声録音)、各種のセッティング、メモリー内容の保存、スクリーンキャプチャー(表示画面の保存)、またファームウェアのアップデートを行うことができます。

CW オペレーションに対応する充実した機能

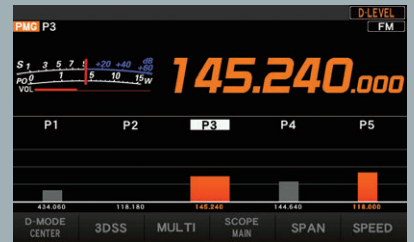
・3.5Φ CW キー端子・内蔵エレクトロニックキーヤー(4~60wpm)
・CW メモリーキーヤー・CW ゼロイン・CW オートゼロイン・チューニングオフセットインジケータ・CW リバース機能・APF (オーディオピークフィルター)・CW オートモード・CW キーイング波形整形

VHF/UHF 帯の FM モードに対応する便利な機能

・104通りのDCS (デジタルコードスケッチ)・50通りのCTCSS トーンエンコーダ/トーンスケッチ機能・レピータのアクセスを容易にするARS (オートレピータースhift) 機能・レピータリバース機能・DTMF 送信機能

PMG (プライマリー メモリー グループ) VHF、UHF は PMG 機能で新操作感覚

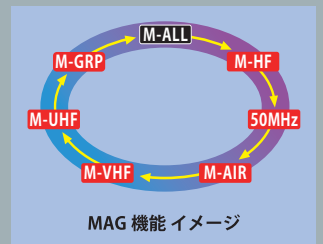
よく使用する周波数(最大5ch)を登録したPMGチャンネルの受信状態をバーグラフでリアルタイムに表示します。信号が入った2つのチャンネルを自動で同時受信しますので、効率よく運用することができます。PMG 機能は108~470MHzで使用できます。



P3とP5の音声と同時に聞こえます。P5の信号が無くなると、P3の音声を聞きながらスキャンを再開します

MAG (メモリーオートグループ)

メモリーの呼出中に『BAND』キーを押すと、メモリーチャンネルがバンドごと(HF、50MHz、AIR、VHF、UHF)に自動的にグルーピングされて呼び出されます。「M-GRP」(マイグループ)では、よく使うメモリーチャンネルなどを登録して呼び出すことができます。「M-ALL」ではすべてのメモリーチャンネルを呼び出します。



QMB (クイックメモリーバンク) 機能

現在の運用状態をワンタッチで専用のQMB (クイックメモリーバンク) にメモリーができるQMBキーを備え、簡単に呼び出すことができます。QMBには周波数、モードだけでなく、送受信設定やフィルター、その他の設定もメモリーしているので、素早く最良の状態を呼び出して運用を開始することができます。(最大10チャンネルのメモリーが可能)

送信出力を5Wに設定できるQRPモード

送信出力の設定値を変更せずに、簡単に全てのバンドの送信出力を最大5Wに固定するQRPモードを用意しました。コンテストや移動運用などですぐにQRP運用を楽しむことができます。

運用状態がひと目でわかるVFO モード インジケータ

VFOモード、メモリーモード、クラリファイ機能などの運用状態がひと目でわかるVFOモードインジケータをMAINダイアルの左右に配置しました。インジケータのカラーはVFOモード、メモリーモードは青/緑/白または消灯、クラリファイ機能は赤または消灯から好みに合わせて選択することができます。



C4FM デジタルならではの先進的な機能

- エラー訂正に優れ移動通信に最適なV/Dモード(音声/データ同時通信モード)と高音質な音声伝送が可能なVoice FRモード(音声フルレートモード)に対応
- デジタルモードとFMモードを瞬時に判別し相互通信を可能にするAMS機能
- メンバーが通信範囲かどうかを画面で簡単に確認できるGM(グループモニター)機能
- 通信したい相手を選択できるDG-ID(デジタルスケッチ)機能

その他の実用的な機能

- ・英数かなカナ漢字12文字タグ付き大容量メモリーチャンネル1,104ch
- ・DSPによる定評のあるデジタルスピーチプロセッサ(LSB/USBのみ)
- ・3-ステージパラメトリックマイクイコライザー・RF ATT (HF/50MHzのみ)・AGC (Automatic Gain Control) 機能・3つのバンドス tack 機能・VOX 機能・APO (オートパワーオフ) 機能・TOT (タイムアウトタイマー) 機能・CAT対応(3系統、USB Type-C 接続)・FM 放送受信(76~108MHz)・外部スピーカー端子・ヘッドホン端子

FTX-1 Fieldでフィールド運用プラス高出力50W移動運用で広がる楽しみ

フィールドヘッドを持ち出して移動運用、付属のバッテリーで送信出力6W、約9時間※¹の長時間運用

多彩な運用方法

① リチウムイオンバッテリーで送信出力6W運用

FTX-1 optima-50は付属の大容量リチウムイオンバッテリー SBR-52LIをフィールドヘッドの背面に装着すれば送信出力6W (QRPモードで5W) で、余裕を持って長時間の移動運用を楽しむことができます。

リチウムイオンバッテリー SBR-52LIの持続時間※¹ (目安)

	HF/50MHz帯	144MHz帯	430MHz帯
SSB/CW	約9時間	約8.5時間	約8時間
FM/C4FM	約8.5時間	約8時間	約7.5時間

② 外部DC13.8V電源を接続して送信出力10W運用

フィールドヘッドに外部DC電源を接続すれば、送信出力10Wで運用できます。SBR-52LI装着時はフィールドヘッドの電源をオフにすればSBR-52LIを約7時間で満充電にできます。フィールドヘッドの電源をオンにして運用中も充電できますが充電時間は約27時間になります。送信中は自動で充電が停止します。

③ USB Type-Cを使って電源など※²に接続して運用

フィールドヘッドにSBR-52LIを装着して、市販のUSB Type-C電源などをフィールドヘッドに接続すれば、受信時はUSB Type-Cから電源が供給され、送信時は自動でSBR-52LIに切り替わり送信出力6Wで運用できます。そのままフィールドヘッドの電源をオフにすればSBR-52LIを約7時間で満充電にできます。フィールドヘッドの電源をオンにして運用中も充電できますが、満充電まで約27時間掛かります。

- 取り外したバッテリーにUSB Type-C充電器※²を接続すれば約7時間充電
SBR-52LIを取り外した状態で市販のUSB Type-C充電器※²を接続して、約7時間で充電できます。運用中に予備のSBR-52LIを充電しておくなど柔軟な運用が可能です。SBR-52LIをフィールドヘッドに取り付けたまま、USB Type-Cケーブルを直接SBR-52LIに接続することはできません。

SBR-52LI単体でUSB Type-C充電に対応



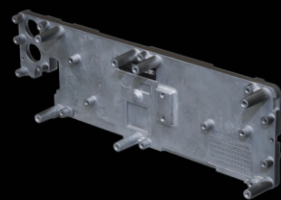
※¹ 最大送信出力6W、送信6秒、受信6秒、待受48秒の繰り返しを想定

※² 市販のUSB PD (パワーデリバリー) 対応45W以上 (DC15V出力対応) のUSB Type-C充電器やバッテリーとUSB PD対応のType-Cケーブルが必要

余裕のある高信頼性ファイナルパワーアンプ

ファイナルアンプで発生した熱は熱伝導性に優れたアルミダイキャスト製のインナーシャーシによって速やかに拡散し、最適な位置に配置されたスリットから効果的に放熱する構造設計により、安定した送信出力を確保しています。

アルミダイキャストインナーシャーシ



※写真のスタンドは市販品です

本体を接続して高出力50W移動運用、オールインワントランシーバーで広がる楽しみ

■ 本体とドッキングしてHF～UHF帯オールバンドでハイパワー50Wの本格的な移動運用・モバイル運用を実現 運用場所を選ばないオールインワントランシーバー

FTX-1 optima-50はフィールドヘッドを本体に取り付けて、送信出力50W、HF～UHF帯のオールインワンオールバンド・オールモードトランシーバーになります。ロケーションのよいキャンプ場や公園、河原などで外部DC電源を接続して本格的な移動運用に活躍します。車に搭載すればHF～UHF帯のハイパワーモバイル機として海外とのDX通信からローカル局とのラグチューまで、FTX-1 optima-50でアマチュア無線の楽しみが広がります。

工具不要で着脱できる本体 (50W パワーアンプ)

本体にはHF/50MHz帯高速オートアンテナチューナー、トップパネルに口径Φ66mm、2.5Wの高音質・大音量スピーカーを内蔵、HF/50MHz帯の2系統アンテナ端子を装備するなど、本格的なオールバンド・オールモードトランシーバーとして多彩な運用を実現します。

本体 (50W パワーアンプ)



FTX-1 Field

10W (SBR-52LI使用時6W) 4アマ免許 技適 標準価格 ¥159,500 (税抜 ¥145,000)

付属のリチウムイオンバッテリー使用で送信出力6Wのフィールド運用、外部DC電源で10Wを実現



- 付属の大容量バッテリーを背面に装着してHF ~ 430MHz帯をオールバンド・オールモードで送信出力6W運用
- 大容量バッテリーとオプションのアンテナチューナー FC-80を同時装着で一体化、フィールドへ持ち歩きも便利
- オプションのパワーアンプSPA-1Mを装着して送信出力50W、オールバンドで本格的な移動運用やモバイル運用が可能

FTX-1 Fieldは付属の大容量リチウムイオンバッテリー SBR-52LIとオプションのアンテナチューナー FC-80を背面に同時に取り付けて一体化、オールバンドで送信出力6W (外部DC電源で10W、QRPモードで5W)を実現、手軽にフィールドに持ち出して移動運用を楽しむことができます。

フィールドヘッドにオプションの50WパワーアンプSPA-1Mを装着すれば、オールバンド・オールモードで出力50Wのオールインワントランシーバーとしてフィールド運用やモバイル運用が楽しめます。

SBR-52LIとFC-80を同時装着したイメージ



フィールドヘッドにSPA-1Mを取り付けたイメージ



●フィールドヘッド用オプション接続図

(バッテリー、アンテナチューナー、クーリングファン、パワーアンプ)



FTX-1 DX

100W (144/430MHz帯 50W) 2アマ免許 技適 標準価格 ¥231,000 (税抜 ¥210,000)

送信出力100W、本格的な固定局運用が可能なオールバンド オールモードトランシーバー



※写真のスタンドは市販品です

- 本体内蔵の100Wパワーアンプ(V/UHF帯50W)によりオールバンド、オールモードの本格的な固定局運用を実現
- 放熱性に優れた大容量アルミダイキャストと直径60mm大型クーリングファンにより高信頼・高安定100Wパワーアンプ

FTX-1 DXは送信出力100W (144/430MHz帯 50W) に対応、大型のアルミダイキャストと内蔵のクーリングファンにより安定した100W高出力を得ています。高音質・大音量スピーカーとHF/50MHz帯高速オートアンテナチューナーを内蔵、HFからUHFまでをカバーするオールバンド・オールモードトランシーバーとしてHF帯の海外とのDX通信やFT8通信などのデジタル通信、V/UHF帯での遠距離通信など本格的な固定局運用を実現します。

HF/50MHz帯 100W ファイナルアンプ



VHF/UHF帯 50W ファイナルアンプ



フィールドヘッド用オプション

SBR-52LI

リチウムイオンバッテリー
10.8V 6,400mAh
(FTX-1 Field/optima-50に付属)
19,800円 (税抜 18,000円)
フィールドヘッドの背面にSBR-52LIを装着すればスタンダアローンで6W (QRPモードでは5W) でフィールド運用が可能です

● SBR-52LI取り付けイメージ



FC-80

HF/50MHz帯 10W
オートアンテナチューナー
・スペーサー付属
35,200円 (税抜 32,000円)
フィールドヘッドの背面に取り付けができる軽量・薄型のオートアンテナチューナーです。付属のスペーサーを使ってSBR-52LIまたはSCF-1と同時に取り付けすることができます

● FC-80 取り付けイメージ



※ バッテリーを外して取り付けます

SCF-1

クーリングファン
6,600円 (税抜 6,000円)
外部電源接続時にデータ通信などの連続送信が多い際に背面に取り付けて効果的に冷却することができます。工具不要で脱着して、すぐにバッテリーに交換できます

● SCF-1 取り付けイメージ



FC-90

HF/50MHz帯 10W ロングワイヤー /50Ω系
アンテナ対応 オートアンテナチューナー
・ロングワイヤー /50Ω系アンテナ対応
35,200円 (税抜 32,000円)
ロングワイヤーアンテナと50Ω系のアンテナの両方に対応する小型10Wオートマチックアンテナチューナーです。フィールドヘッドとケーブルで接続してアンテナ直近に設置できます

● FC-90



SPG-1

プロテクションガード
4,950円 (税抜 4,500円)



SSM-75E

キー付ハンドマイク
(付属品と同等)
6,050円 (税抜 5,500円)



YH-77STA

ステレオヘッドホン
6,270円 (税抜 5,700円)



FGPS-5

GPSアンテナユニット
6,600円 (税抜 6,000円)



BU-6

Bluetoothユニット
・カバー付属
6,600円 (税抜 6,000円)



SSM-BT20

Bluetoothヘッドセット
4,730円 (税抜 4,300円)

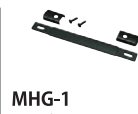


FC-40

オートアンテナチューナー
・ロングワイヤーアンテナ対応
52,580円 (税抜 47,800円)

SPA-1M

50Wパワーアンプ
FTX-1 Field用オプション
(FTX-1 optima-50に同梱)
・HF/50MHz帯オートアンテナチューナー、
2.5W高音質・大音量スピーカー内蔵、
HF/50MHzアンテナ端子2系統装備
88,000円 (税抜 80,000円)



MHG-1

サイドキャリアハンドル
(SPA-1M、FTX-1 DX
本体用)
1,760円 (税抜 1,600円)



FTX-1 専用延長ケーブル

フィールドヘッドとパワーアンプを
セパレートして運用できます
SCU-66 (約 1.5m)
13,090円 (税抜 11,900円)
SCU-66L (約 3m)
14,190円 (税抜 12,900円)

ATAS-25

アクティブチューニング

アンテナ (手動)

最大入力:
HF/50MHz帯 (SSB,CW):100W
144/430MHz帯:50W
32,780円 (税抜 29,800円)

ATAS-120A

オートアクティブチューニング

アンテナ (オートチューニング)

最大入力:
HF/50MHz帯 (SSB,CW):120W
144/430MHz帯:50W
46,200円 (税抜 42,000円)

ATBK-100

ATAS-120A用
アンテナベースキット
(50/144/430MHz帯)
10,780円 (税抜 9,800円)

デスクトップ用マイクロフォン



M-1

リファレンスマイクロフォン
82,280円 (税抜 74,800円)



M-100

デュアルエレメント
マイクロフォン
47,080円 (税抜 42,800円)



M-90D

デスクトップ 型
ダイナミックマイクロフォン
22,550円 (税抜 20,500円)



M-90MS kit

マイクスタンド用キット
ダイナミックマイクロフォン
※ マイクスタンドは付属していません。
市販品をお求めください。
19,800円 (税抜 18,000円)



M-70 Desktop Microphone

16,280円 (税抜 14,800円)

定格

一般			
送信周波数範囲	1.8MHz帯～430MHz帯のアマチュアバンド / 非常連絡設定周波数 4630kHz		
受信周波数範囲	30kHz～174MHz、400MHz～470MHz (動作範囲) 1.8MHz～440MHzアマチュアバンド (保証範囲*) ※中間周波数を除く		
電波型式	A1A (CW)、A3E (AM)、J3E (LSB/USB)、F3E (FM)、F7W (C4FM)、F1D、F2D		
周波数切替ステップ	1*/5/10/20Hz (CW/SSB/AM)、5/10/20Hz (FM) *1HzはFINE使用時		
アンテナインピーダンス	50Ω不平衡		
動作温度範囲	-10℃～+50℃		
周波数安定度	±0.5ppm 以内 (-10℃～+50℃時: 電源投入 1分後)		
電源電圧	DC10.8V (SBR-52LI使用時) DC13.8V ± 15% (外部電源端子)		
消費電流	受信無信号時: 約0.6A、受信信号出力時: 約0.9A 送信時: FTX-1 Field 約2.5A (6W)、約3A (10W) FTX-1 optima-50 約16A (HF/50MHz帯50W)、約9A (144MHz帯50W)、 約12A (430MHz帯50W) FTX-1 DX 約21A (HF/50MHz帯100W)、約9A (144MHz帯50W)、 約12A (430MHz帯50W)		
外形寸法	FTX-1 Field: 213W x 89H x 55D mm (突起物含まず) FTX-1 optima-50 / DX: 213W x 89H x 240 mm (フィールドヘッド含む、突起物含まず)		
重量	FTX-1 Field: 約1.25kg、FTX-1 optima-50 / DX: 約3.9kg (フィールドヘッド含む)		

送信部			
定格送信出力	FTX-1 Field	FTX-1 optima-50	FTX-1 DX
	SBR-52LI使用時: 0.5W～6W 0.5W～1.5W (AM Carrier) 外部電源接続時: 0.5W～10W 0.5W～2.5W (AM Carrier)	5W～50W 5W～13W (AM Carrier)	HF/50MHz帯: 5W～100W 5W～25W (AM Carrier) 144/430MHz帯: 5W～50W 5W～13W (AM Carrier)
変調方式	J3E (SSB) 数値演算型平衡変調 A3E (AM) 数値演算型低電力変調 F1D、F2D、F3E (FM) 数値演算型リアクタンス変調 F7W 4値周波数変調 (C4FM)		
FM最大周波数偏移	±5.0kHz / ±2.5kHz (Narrow) (IDC及びスプラッタフィルター付き)		
スプリアス発射強度	FTX-1 Field	FTX-1 optima-50	FTX-1 DX
	HF帯 50MHz帯 144/430MHz帯	-50dB以下 -60dB以下 -60dB以下	-50dB以下 -63dB以下 -60dB以下

送信部			
搬送波抑圧比	60dB 以上		
不要側波帯抑圧比	60dB 以上		
占有周波数帯域幅	SSB 3kHz以内、CW 500Hz以内、AM 6kHz以内、FM/C4FM 16kHz以内		
送信周波数特性	SSB 300Hz～2700Hz 以内 -6dB 以内		
マイクロホンインピーダンス	600Ω (200Ω～10 k Ω)		
受信部			
受信方式	ダイレクトサンプリング スーパーヘテロダイン方式 (受信周波数48MHz未満) シングルコンバージョン・IF サプリング方式 (受信周波数48MHz以上)		
中間周波数	MAIN: 44.5 ～ 49.5MHz, SUB: 41.3 ～ 44.3MHz (受信周波数48MHz以上)		
受信感度 (TYP)	SSB/CW (通過帯域幅 2.4kHz/10dB S+N/N) 1.8MHz ～ 30MHz 0.16 μV 以下 (IPO=AMP2) 50MHz ～ 54MHz 0.125 μV 以下 (IPO=AMP2) 144MHz ～ 146MHz 0.125 μV 以下 (AMP ON) 430MHz ～ 440MHz 0.125 μV 以下 (AMP ON) AM (400Hz, 30% 変調波、通過帯域幅 6kHz/10dB S+N/N) 0.5MHz ～ 1.8MHz 7.9 μV 以下 1.8MHz ～ 30MHz 2 μV 以下 (IPO=AMP2) 50MHz ～ 54MHz 1 μV 以下 (IPO=AMP2) 144MHz ～ 146MHz 1 μV 以下 (AMP ON) 430MHz ～ 440MHz 1 μV 以下 (AMP ON) FM (1kHz, 3.5kHz DEV, BW:12kHz/12dB SINAD) 28MHz ～ 30MHz 0.25 μV 以下 (IPO=AMP2) 50MHz ～ 54MHz 0.2 μV 以下 (IPO=AMP2) 144MHz ～ 146MHz 0.125 μV 以下 (AMP ON) 430MHz ～ 440MHz 0.125 μV 以下 (AMP ON)		
選択度 (TYP)	Mode	-6dB	-60dB
	CW (BW=0.5kHz) SSB (BW=2.4kHz) AM (BW=6kHz) FM (BW=12kHz)	0.5kHz 以上 2.4kHz 以上 6kHz 以上 12kHz 以上	0.75kHz 以下 3.6kHz 以下 15kHz 以下 25kHz 以下
イメージ妨害比	70dB 以上 (1.8MHz帯～28MHz帯アマチュアバンド) 60dB 以上 (50MHz帯/144MHz帯/430MHz帯アマチュアバンド)		
低周波定格出力	FTX-1 Field: 1.5W 以上、FTX-1 optima-50 / DX: 4W (1.5+2.5W) (@4Ω THD 10%)		
低周波出力インピーダンス	4 ～ 16Ω (標準 4Ω)		
副次的に発する電波等の限度	4nW 以下		

● APRS™はTucson Amateur Packet Radio Corp.の米国登録商標です。Smart Beaconing™はHamHUB Nichetronix社から提供されています。● Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、八重洲無線株式会社はライセンスに基づいて使用しています。

YAESU

Radio for Professionals

八重洲無線株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井 6-26-3

大森ベルポート D 館

営業所: 札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

<https://connect.yaesu.com/>

製品等のお問い合わせは、カスタマーサポートまで
TEL : 0570-088013

● カタログに記載されている価格には、オプション取付費等は含まれておりません。● カタログ中に記載している社名、名称は、各社の登録商標です。● 表示画面はハメコミ合成です。

● 製品の仕様・外観等は改良のため予告なく変更することがあります。● 製品の写真是印刷の関係上、実際のものと多少異なる場合があります。このカタログの内容は、2025年11月現在のものです。

2025.1100YS(J) YSR0088068